(3) 歳　　出

平成26年度第４・四半期中の支出済歳出額は、29,922,729,120千円であって、歳出予算現額103,830,143,326千円に対して28.8％（前年同期28.3％）の支出割合となる。これを前年同期29,998,714,932千円に比べると75,985,812千円の減少となる。

これは、医療保険給付諸費において669,900,867千円、道路交通安全対策事業費において294,599,738千円の増加があったが、道路整備事業費社会資本整備事業特別会計へ繰入において1,021,975,324千円の減少があったこと等のためである。

以下、所管別内訳についてみると次のとおりである。

（単位千円　千円未満切捨）

所管	26年度第４・四半期	前年同期
皇室費	2,916,264	3,146,872
国会	40,994,159	38,191,399
裁判所	85,197,686	88,697,894
会計検査院	4,871,688	4,565,882
内閣	65,820,391	55,522,251
内閣府	360,465,810	319,460,267
総務省	2,097,578,305	2,232,196,037
法務省	256,327,957	227,311,991
外務省	383,371,412	386,221,226
財務省	7,709,433,951	7,911,933,486
文部科学省	2,030,497,734	2,190,429,434
厚生労働省	7,316,711,710	6,600,827,128
農林水産省	1,186,568,030	1,494,949,731
経済産業省	1,335,245,722	1,118,065,091
国土交通省	4,940,244,261	5,404,830,797
環境省	286,125,945	267,383,996
防衛省	1,820,358,089	1,654,981,443
計	29,922,729,120	29,998,714,932

また、平成26年度における支出済歳出額は98,813,467,430千円であって、歳出予算現額（103,830,143,326千円）に対して95.1％（前年度94.7％）の支出割合となり5,016,675,895千円の差額を生ずる。

上記差額のうち、本年度において支出を終わらず翌年度へ繰り越した額は3,604,866,310千円であって、不用となった額は1,411,809,584千円である。

なお、上記の翌年度繰越額及び不用額の所管別内訳は、次のとおりである。

（単位千円　千円未満切捨）

所管	翌年度繰越額	不用額
皇室費	294,656	240,636
国会	2,288,303	4,094,583
裁判所	5,446,602	9,334,385
会計検査院	47,794	777,773
内閣	12,581,091	7,039,400
内閣府	282,903,861	94,084,684
総務省	316,882,669	19,665,239
法務省	12,766,333	16,064,851
外務省	93,721,937	7,581,906
財務省	3,530,516	442,548,454
文部科学省	219,896,808	46,546,175
厚生労働省	158,907,231	360,781,959
農林水産省	406,441,391	142,623,356
経済産業省	120,699,440	24,839,983
国土交通省	1,750,975,215	163,177,144
環境省	63,491,768	10,660,115
防衛省	153,990,688	61,748,934
計	3,604,866,310	1,411,809,584

以上の詳細は、別表第１のとおりである。

(注)　上記の各計数は、千円未満を切り捨てた。

２．特　別　会　計

(1) 歳　　入

平成26年度第４・四半期中の各特別会計の収納済歳入額合計は、93,177,489,550千円であって、歳入予算額合計413,916,029,944千円に対して22.5％（前年同期28.3％）の収入割合となる。これを前年同期118,719,395,358千円に比べると25,541,905,808千円の減少となる。

これは、国債整理基金特別会計において19,341,613,525千円の減少があったこと等のためである。

また、当年度末における収納済歳入額合計は406,736,395,250千円であって、歳入予算額合計（413,916,029,944千円）に対して98.2％（前年度101.1％）の収入割合となる。

(2) 歳　　出

平成26年度第４・四半期中の各特別会計の支出済歳出額合計は、74,059,178,714千円であって、歳出予算現額合計417,644,733,748千円に対して17.7％（前年同期20.4％）の支出割合となる。これを前年同期82,340,985,271千円に比べると8,281,806,557千円の減少となる。

これは、財政投融資特別会計財政融資資金勘定において4,136,341,994千円、国債整理基金特別会計において1,945,925,590千円の減少があったこと等のためである。

また、当年度末における支出済歳出額合計は390,201,940,090千円であって、歳出予算現額合計（417,644,733,748千円）に対して93.4％（前年度94.8％）の支出割合となる。

以上の詳細は、別表第２のとおりである。

(注)　上記の各計数は、千円未満を切り捨てた。